

荷台改造イメージ図

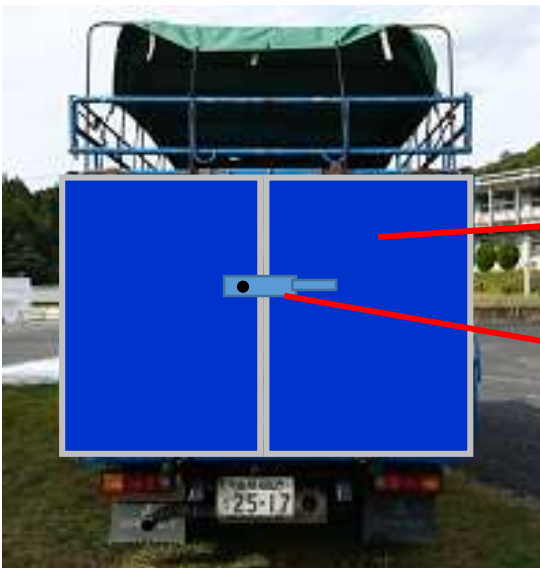
1 荷台の深型仕様

【側面】



荷台の高さを運転席の屋根高までかさ上げ（鉄製）する。

【後面】

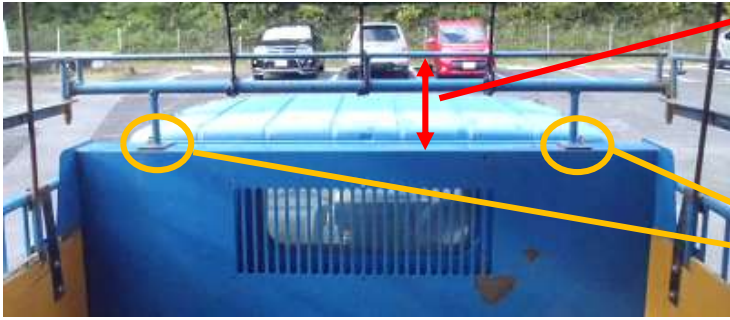


荷台の高さを運転席屋根高までかさ上げ（鉄製）し、観音開きとする。

扉はロックできるものとする（ロック方式は問わない）。

2 荷台上部への柵設置（前後左右の4面）

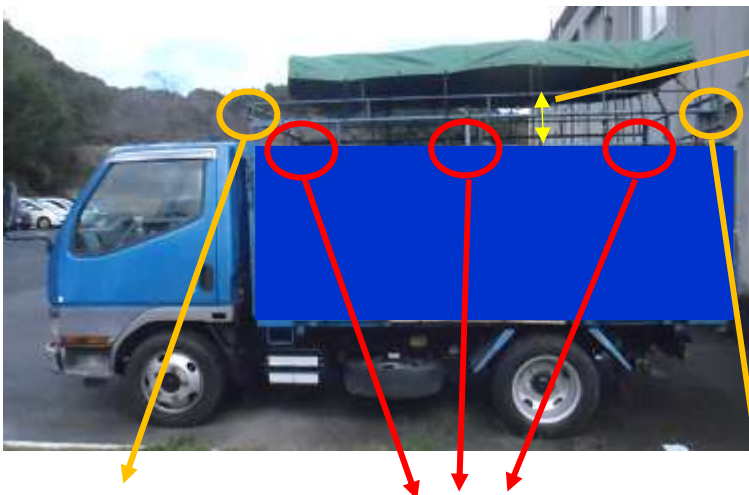
【前面】



高さ 30cm 程度の柵（鉄製）を設置。（荷台上部にボルトで固定。ボルトを外せば柵の取り外しが可能。）



【側面】



高さ 30cm 程度の柵（鉄製）を設置（取り外し可能）。

取付方法（例）

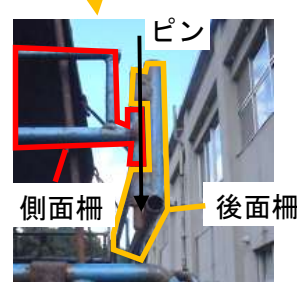
荷台上部に取付けたパイプにL字に加工した柵脚を差し込む（3箇所程度）。さらに柵の両端は前後面の柵とピン留め固定をする。



前面柵とピン留め

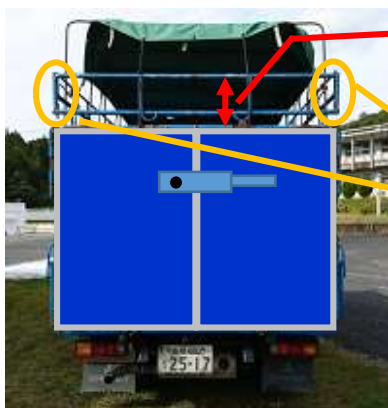


L字の柵脚を荷台上部のパイプに差込む



後面柵とピン留め

【後面】



高さ 30cm 程度の柵を設置（取り外し可能）。

設置方法は両端を側面柵にピン留めする。

3 仕切柵の設置

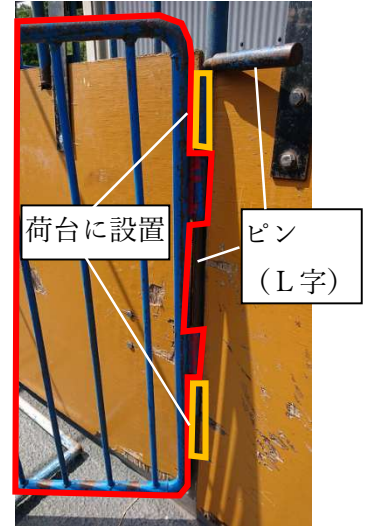
【中央部】



格子幅は10cm程度とする。

床面とは10cm程度の間を空ける。

荷台中央部に仕切柵を設置。両端はピン留めする（取り外し可能）。高さは荷台と同じ。



【後部】



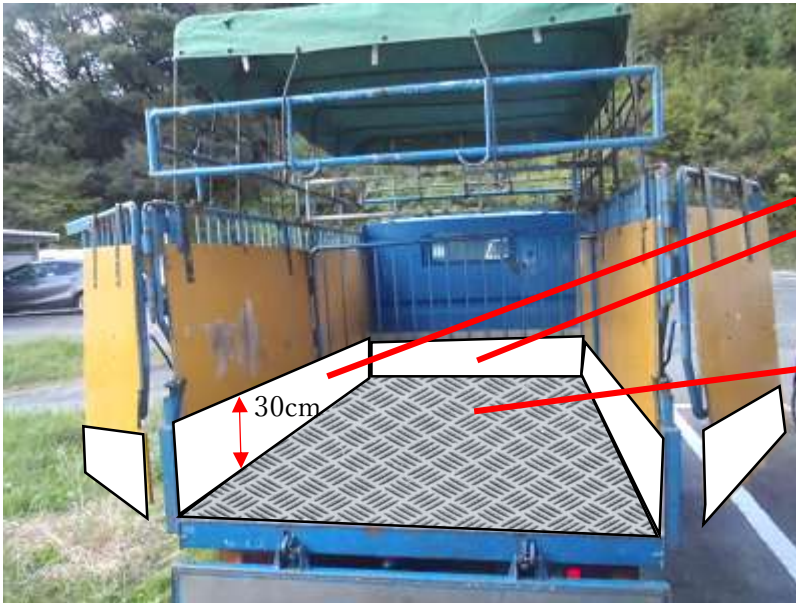
仕切柵の左半分は家畜搬出用の扉とする。

扉は左右2本ずつのピン留め。（左右どちらにも開閉可能）

荷台後部に仕切柵（鉄製）を設置（観音扉が開閉できる位置）。高さは荷台と同じ。

仕切柵の両端はピン留めし、取り外し可能とする（中央部と同様）。

4 床及び内装



側面（四方）をステンレス張りとする（床から30cm）。

床（全面）をステンレス縞板仕様とする。

5 荷台屋根脚の差込用金具（パイプ）の設置（片側6箇所） （荷台屋根作成は不要）



荷台上部の内側に屋根設置用の金具（パイプ）を取付ける（片側6箇所、両側12箇所）



内側から見た様子